

報道関係者 各位

宮崎県におけるオセルタミビル(商品名:タミフル)耐性を示す

新型インフルエンザウイルスについて

宮崎県から、タミフル耐性を示すH275Yの遺伝子変異を持つ新型インフルエンザウイルスが分離され、薬剤感受性試験により薬剤耐性が確認されたとの報告がありましたので、その概要について、別紙のとおり、情報提供します。

記者発表事項

平成22年1月25日

<p>発表事項</p>	<p>抗インフルエンザウイルス薬（商品名：タミフル）に耐性を示す新型インフルエンザウイルス（A/H1N1）の確認について（第70報）</p>
<p>概要</p>	<p>宮崎県内において、新型インフルエンザ（A/H1N1）の感染が確認された患者から、オセルタミビル（商品名：タミフル）耐性の新型インフルエンザウイルス（A/H1N1）が確認されましたので、その概要をお知らせいたします。</p> <p>なお、厚生労働省によるとタミフルに対する耐性を持つ遺伝子変異は、ウイルスの病原性には直接影響を及ぼすものではないとされています。</p> <p>1 検査結果</p> <p>(1) 遺伝子検査（宮崎県衛生環境研究所実施し、12月25日（金）判明） オセルタミビル（商品名：タミフル）耐性を示す遺伝子変異を確認。</p> <p>(2) 薬剤感受性試験（国立感染症研究所実施 1月5日（火）に県から依頼、1月22日（金）結果連絡） ○オセルタミビル（商品名：タミフル）耐性を確認。 ○ザナミビル（商品名：リレンザ）感受性（有効性）を確認。</p> <p>【参考】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・耐性：薬剤に対して抵抗性を持ち、これらの薬剤が効きにくくなること。 ・感受性：薬剤が有効に作用すること。 <p>2 患者の概要 宮崎市在住の4歳、女児 基礎疾患なし</p> <p>3 経緯</p> <p>平成21年11月12日 熱38℃、咳症状のため近くのA医療機関を受診。 インフルエンザ簡易キットA型(-)、インフルエンザ疑いにてタミフルドライシロップを処方され、5日間服用。</p> <p>11月16日 咳症状増強</p> <p>11月17日 咳症状軽減せず、熱38.5℃、呼吸苦のためB医療機関を受診。肺炎所見があるためC医療機関へ紹介入院となった。インフルエンザ簡易キットA型(-)。</p> <p>11月18日 PCR検査の結果、新型インフルエンザ陽性と確定。 タミフルドライシロップを5日分処方される。</p> <p>11月20日 軽快退院。</p> <p>なお、この患者からの周辺への感染拡大は認められていません。</p> <p>4 その他検査状況</p> <p>現時点までに、宮崎県衛生環境研究所において、66検体の遺伝子解析を行った結果、タミフル耐性を持つ遺伝子変異（耐性マーカー：H275Y）が確認されたのは、今回が初めてです。 全国では、平成22年1月22日までに38例確認されております。</p>
<p>主管課等</p>	<p>宮崎県新型インフルエンザ総合対策本部総合対策部 福祉保健部 健康増進課 林 山田 本井 電話 0985-44-2620 内線(2497, 2494) FAX 0985-26-7336</p>